



# 住友商事株式会社

## 商社のビジネススピードに不可欠な ワークフローシステムを支えるAdobe® Acrobat®

### 住友商事株式会社

http://www.sumitomocorp.co.jp/

所在地: 本社

東京都中央区晴海一丁目8番11号

晴海アイランドトリトンスクエア

オフィスタワーY棟

電話: 03(5166)5000

### 事業概要:

全世界にまたがる営業拠点およびその情報ネットワークを活用し、あらゆる分野にわたる商品取引を行うほか、関連する取引先に対する各種ファイナンスの提供、各種プロジェクトのオーガナイザーおよび、コーディネーターとしての機能発揮、情報産業分野や小売業分野をはじめとした事業投資など

### 商社のビジネススピードに不可欠な ワークフローシステムを支えるAdobe Acrobat

事業の多角化とともに、グローバルなリレーションを武器にビジネスを展開し続けている巨大総合商社。総合商社の強みは、業種業態を問わないフットワークを活かしたトレーディングビジネスに他ならない。このビジネスモデルの根幹となっているものが、そのビジネススピードの速さである。数年前より、「e-office」と呼ばれる業務の効率化・スピード化を目指したプロジェクトで、商社の生命線であるビジネススピードを最大限に高めようとして取り組んでいるのが住友商事だ。このe-officeプロジェクトの中核を担っているものが、同社で独自開発したワークフローシステムであり、このシステムに必要不可欠なツールとして採用されたのが、Adobe® Acrobat®である。

### レスペーパー化と業務効率化を 図るための切り札PDF

2001年度から2002年度の2年間にわたって、ITなどの情報技術や物流、金融技術を活用したビジネスモデルの展開など、戦略的に取り組む分野への経営資源の投入を推進してきた住友商事。その期間に実践した中期経営計画「Step Up Plan」の中で、ERPシステム導入を柱とした「Σ（シグマ）21プロジェクト」によって基幹系業務の刷新を行ってきた。あわせてオフィスワーカーの業務の効率化とレスペーパー化を目的とした「e-officeプロジェクト」を現在も推進している。

Σ21プロジェクトでは、SAPジャパン株式会社のERPシステム「SAP® R/3®」を導入し、基幹系業務の刷新にあわせて全業務における電子化を推進してきた。その効果もあって、これまで業務で発生していた伝票や与信業務の書類などの紙文書が電子化され、大幅なレスペーパー化が図られた。しかし、最後まで電子化できなかったものが、承認者の印鑑を必要とする定型の申請書類や、起案者自身が作成する非定型の起案書類だった。

また、社外に出向いて仕事をする機会が多い「商社」というワークスタイルゆえに、伝票処理や申請承認作業などの社内業務を、社外にいながらにして処理できるワークフローの構築が求められていた。また、このモバイルによるワークフローを実現するためには、業務を遂行する上で必要な書類が、すべて電子化されている必要もあったのである。

このワークフローシステムを構築するにあたって必要とされたのが、電子証明書を利用した電子署名の仕組みであった。また、申請書類や起案書類など、紙で利用されていた定型・非定型文書の電子化を強力に推し進めるために必要不可欠なツールがAcrobatだったのである。

### Adobe Acrobatの優位性

「承認を必要とする定型の申請書類や非定型の起案書類をどのように電子化するかと考えたときに、実現可能なソリューションを提供してくれたのがAcrobatでした」とIT企画推進部企画統括チームリーダーの伊藤 友久氏は語る。Acrobatを採用したのは、各部署で作られていた申請書類や起案書類の多くがMicrosoft® WordやMicrosoft® Excelで作成された文書であり、これらを簡単に電子化できるツールを検討した結果だという。定型の申請書類については、HTML形式によるWebシステムとして電子化することも検討されたが、開発そのものにコストがかかりすぎ、現実的にすべての申請書類をWeb化することができないと判断したことも、PDFを選んだ理由のひとつになっている。

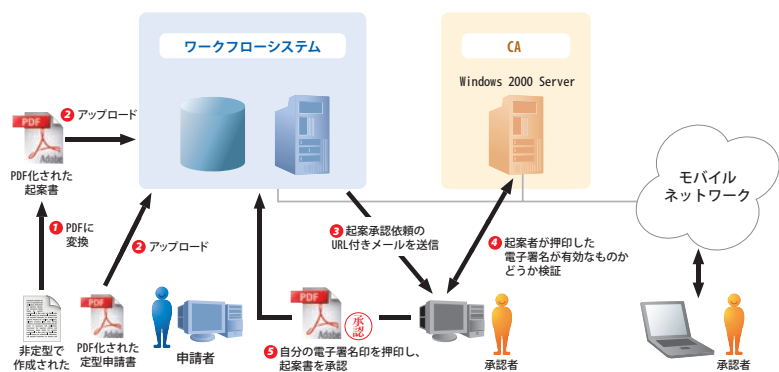
Acrobatには、多くの機能が標準装備され、ユーザが操作するためのGUIも簡単に作られており、システムを導入するときに必要なユーザ教育の手間を大幅に省くことができる点も、Acrobatの大きな魅力のひとつだと伊藤氏は語ってくれた。「社内研修でユーザ教育を行っているのですが、操作手順が簡便なため、ユーザの理解が早いですね」。



上:伊藤 友久 (いとうともひさ)氏  
IT企画推進部  
企画統括チームリーダー

下:山崎 敏伸 (やまさきとしのぶ)氏  
IT企画推進部  
企画統括チーム





承認ワークフローを電子化するためのキーとなる電子署名は、Windows 2000 Serverが提供している「認証サービス」を利用している。この認証サービスを使って、国内で働く全社員およそ5,000人に電子証明書を発行しており、その電子証明書を使うことで、誰でも簡単に電子署名を行うことができるようになっている。

**Adobe Acrobatの主な利点**

- ・全社員に配布したAcrobatと電子証明書で社内文書セキュリティインフラを効率的に構築
- ・承認を要する文書をPDFにし、電子的に回付、電子署名で承認、アーカイブ
- ・その結果、承認プロセスのスピードアップによりビジネスが迅速に
- ・モバイル環境を社員に提供するために必須なレスペーパー化をPDFで実現し、業務効率を改善
- ・Word、Excelによる紙のフォームをそのままPDF化し、高い費用対効果で多数のフォームを電子化
- ・見慣れたフォームでユーザ教育のコストを削減
- ・PDFフォームのデータをCSVで取り出し会計システムに入力し、データ再入力のコストを削減

**使用したアドビ製品**

- ・ Adobe Acrobat

**製品に関する詳細は**

[www.adobe.co.jp/products/acrobat/main.html](http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/main.html)をご覧ください。

**お問い合わせ先**

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお買い求めください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ ([www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)) で入手してください。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0407) へお問い合わせください。

また、ユーザが慣れ親しんだ紙のレイアウトそのまま電子化されていることが、ユーザ教育をスムーズに行う強みになっているという。

HTMLにはできないPDFならではの機能が、電子署名による承認ワークフローだ。住友商事ではAcrobatの電子署名機能を使い、バックエンドにワークフローシステムを構築して承認プロセスを電子化している。

署名を受けた電子文書はサーバ上に格納され、承認を受けたそのままの体裁で閲覧できるようになる。そのため、どの状態の文書が誰に承認されたものなのかがはっきりとわかるようになることも大きなメリットのひとつだ。

現在では、システム導入以前に作成された伝票や契約書など、紙で保管されている文書の電子化にも取り組んでいる。スキャンしたデータをAcrobatでPDFに変換する作業も順調に進んでおり、この点でもAcrobatは強力なツールとしてe-officeプロジェクトを支えている。

**電子署名で実現した承認プロセスの電子化**

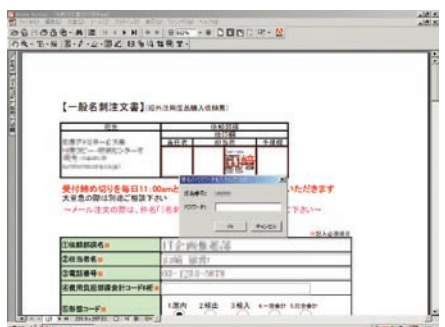
**-その導入効果-**

特に今回のシステムでは、誰にでも簡単に利用してもらえるように、操作性にこだわったシステムを作り上げている。非定型の起案文書に署名欄を作成するときには、その署名欄を配置する場所をワンタッチするだけで署名欄を作り上げることができる。また、署名を依頼された承認者は、必要な署名欄が赤く表示され、その場所をクリックしパスワードを入力するだけで、電子署名が完了してしまうという簡便さだ。これらワークフローシステムと電子署名を行うためのプラグインソフトは、エス・シー・インフォテック株

式会社と株式会社プラネットコンピュータが提供しており、すべてのシステム運用はSCSネットワークス株式会社が行っている。

投資対効果という面で伊藤氏は、「経費削減という効果はもちろん大きいですが、外部から申請作業や申請承認作業などを行うことで実現する『定性的な効果』が一番ですね。承認までのスピードが上がることで、ビジネスにおける機会損失を防止し、すばやい対応による顧客満足度の向上などが図れるようになりました。」と語ってくれた。

また、具体的な効果として語ってくれたのが、社内システムと連動することによる『業務処理の効率化』だ。これまで手作業で入力していた紙のデータをPDFデータに変更することで、データ再入力の手間を減らすことが可能となった。これは、Acrobatソリューションを展開している株式会社コメット情報がプラグインで提供しており、すでに一部の発注申請書類から会計システムに直接データを取り込めるようになっており、これまでの再入力のための作業量を大幅に軽減できたという。



電子署名のフォームが埋め込まれた名刺注文書。捺印欄をクリックしパスワードを入れると、印影を伴った電子署名をつけることができる。

**今後の展望とPDFの可能性**

現在は約1,000人にモバイル環境を提供しているが、今後は外部からでも申請・承認できることを認知させていく予定だ。「利便性を理解してもらい、外部からでも作業ができるメリットを享受してもらえれば、さらにモバイル環境を求める声も大きくなるでしょう」と伊藤氏は語る。また、社内システムとの連動を図るためのツールとして各所からアイデアを持ち寄り、Acrobatを幅広く活用していくことも検討している。さまざまな用途に応用できる可能性を秘めたツールとしてAcrobatの理解をより深めていきたいという。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー・www.adobe.co.jp

Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

アドビカスタマーインフォメーションセンター Tel.03-5350-0407 受付時間/平日9:30~17:30(土曜・日曜・祝日・弊社指定休日を除く)

Adobe, Adobe ロゴ, Adobe Illustrator, Acrobat, PostScriptおよびPhotoshop は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。OpenTypeおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。SAP, R/3は、SAP AGのドイツおよびその他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2004 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan. XXXXXXXX 00/04

